

岩木山の火山活動解説資料（令和5年10月）

仙台管区气象台
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図1～6）

百沢東監視カメラによる観測では、噴気は認められませんでした。

4日から6日にかけて実施した現地調査では、鳥ノ海火口、種蒔苗代、湯ノ沢上流域及び赤沢上流域において、前回（2014年8月）に引き続き地熱域は認められませんでした。

・地震や微動の発生状況（図7）

火山性地震は少ない状態で経過しました。火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図8、図10）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

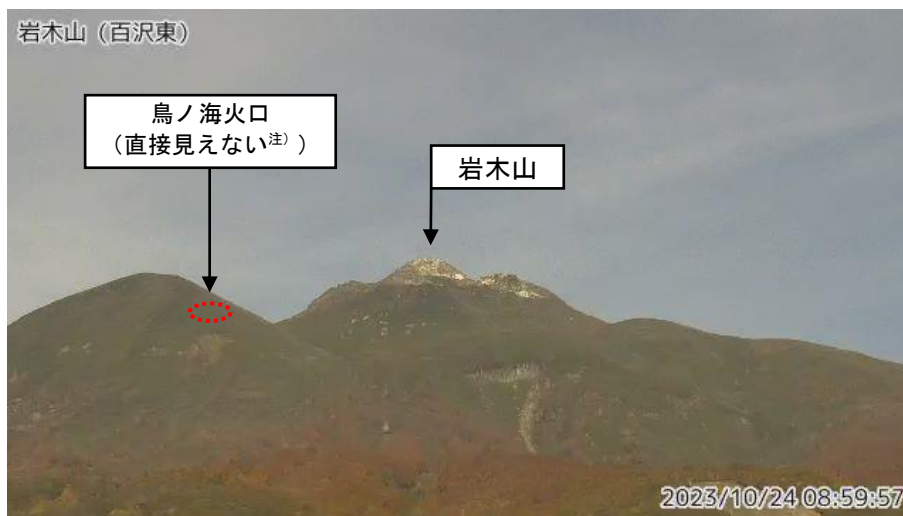


図1 岩木山 山頂部の状況（10月24日）

- ・百沢東監視カメラ（山頂の南東約4km）の映像です。
- ・注）鳥ノ海火口から噴気が噴出した場合、高さ50m以上のときに百沢東監視カメラで観測されます。監視カメラからは直接見えませんが、赤破線が鳥ノ海火口の位置を示します。

噴気は認められませんでした。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページで閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

次回の火山活動解説資料（令和5年11月分）は令和5年12月8日に発表する予定です。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土地理院、弘前大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」及び「電子地形図（タイル）」を使用しています。

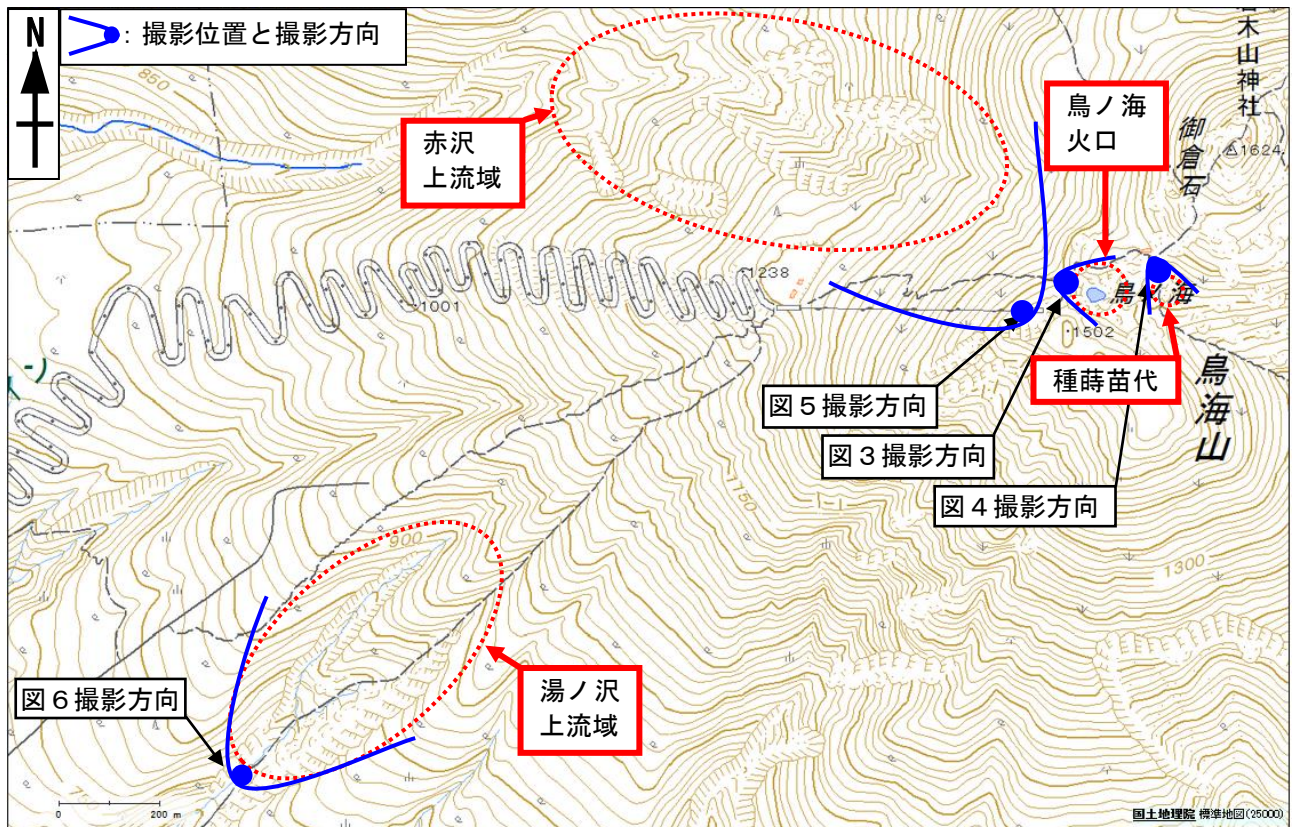


図2 岩木山 鳥ノ海火口、種蒔苗代、赤沢上流域、湯ノ沢上流域の写真と地表面温度分布撮影位置

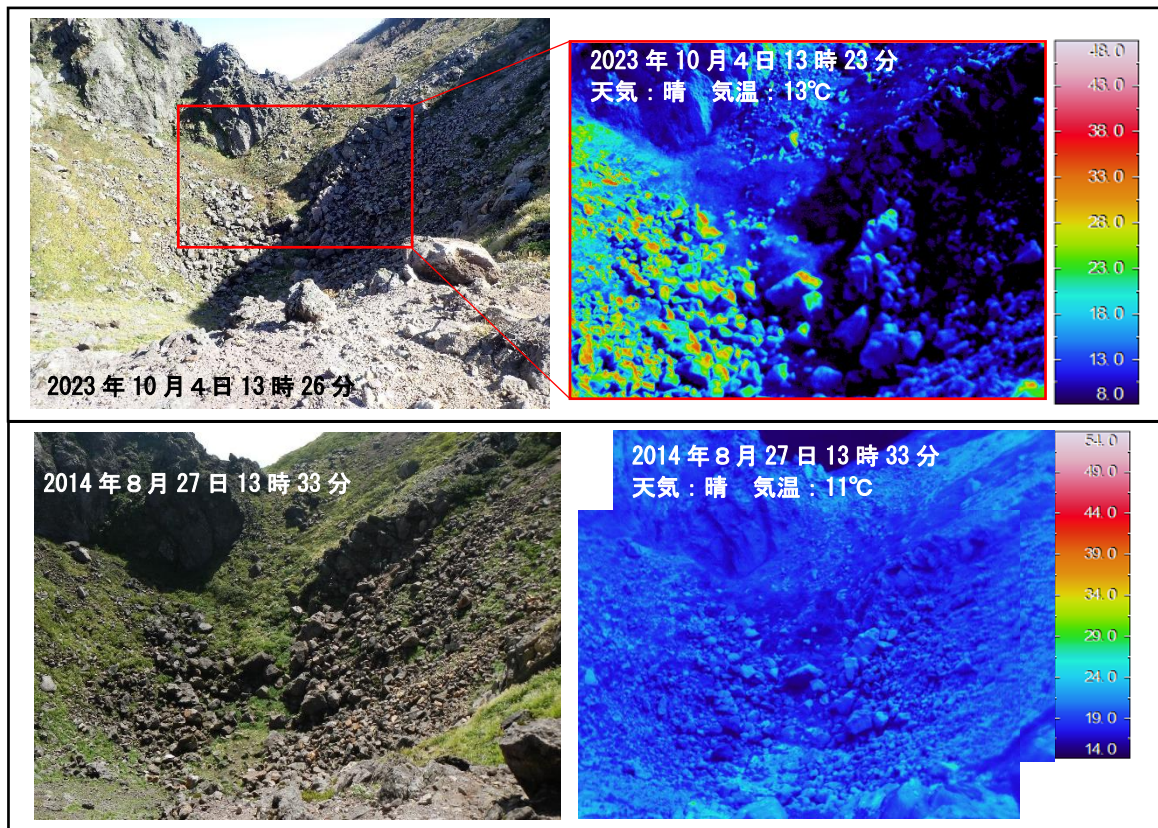


図3 岩木山 鳥ノ海火口付近の状況（左）と地表面温度分布（右）

・日射の影響により、裸地等では表面温度が高めに表示されています。

鳥ノ海火口付近に地熱域は認められませんでした。

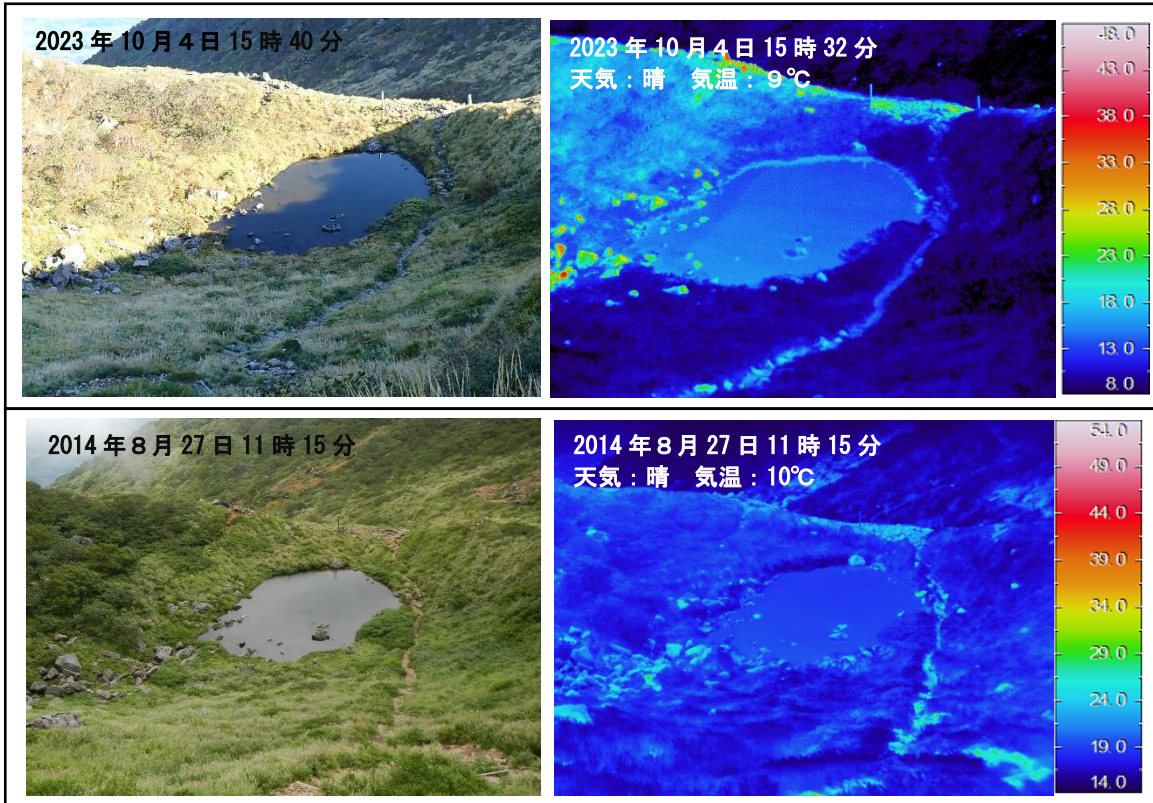


図4 岩木山 種蒔苗代の状況と地表面温度分布

・日射の影響により、裸地等では表面温度が高めに表示されています。

種蒔苗代に地熱域は認められませんでした。

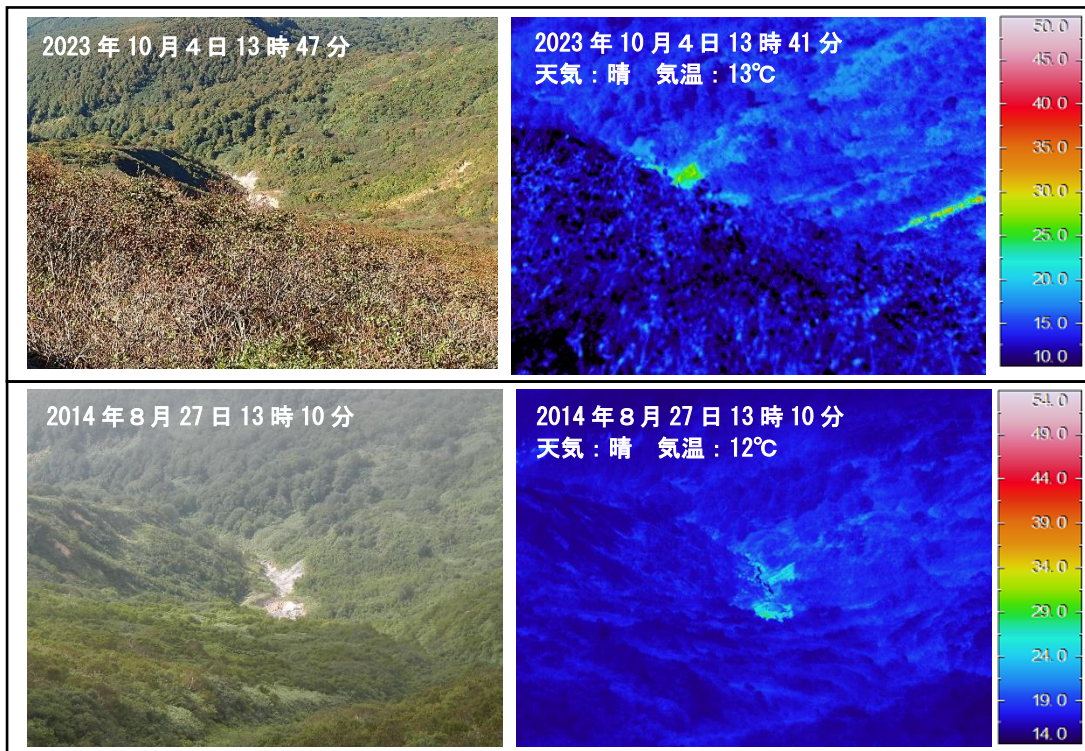


図5 岩木山 赤沢上流域の状況と地表面温度分布

・日射の影響により、裸地等では表面温度が高めに表示されています。

赤沢上流域に地熱域は認められませんでした。

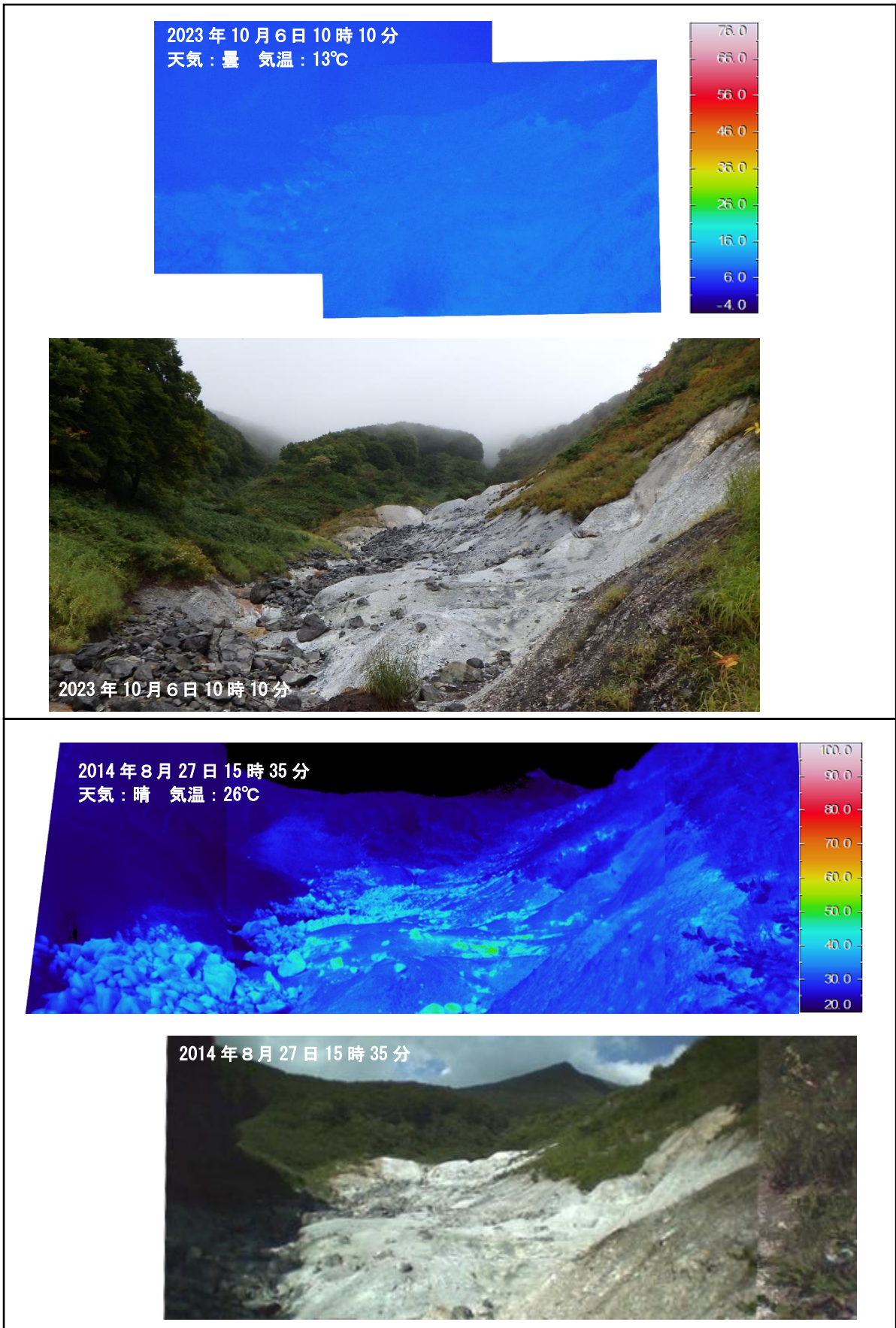


図6 岩木山 湯ノ沢上流域の状況と地表面温度分布

・日射の影響により、裸地等では表面温度が高めに表示されています。

湯ノ沢上流域に地熱域は認められませんでした。

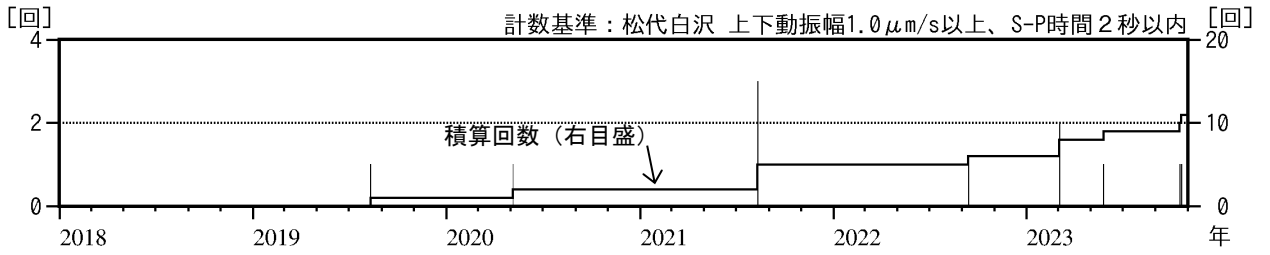


図7 岩木山 日別地震回数（2018年1月～2023年10月）

火山性地震は少ない状態で経過しました。火山性微動は観測されませんでした。

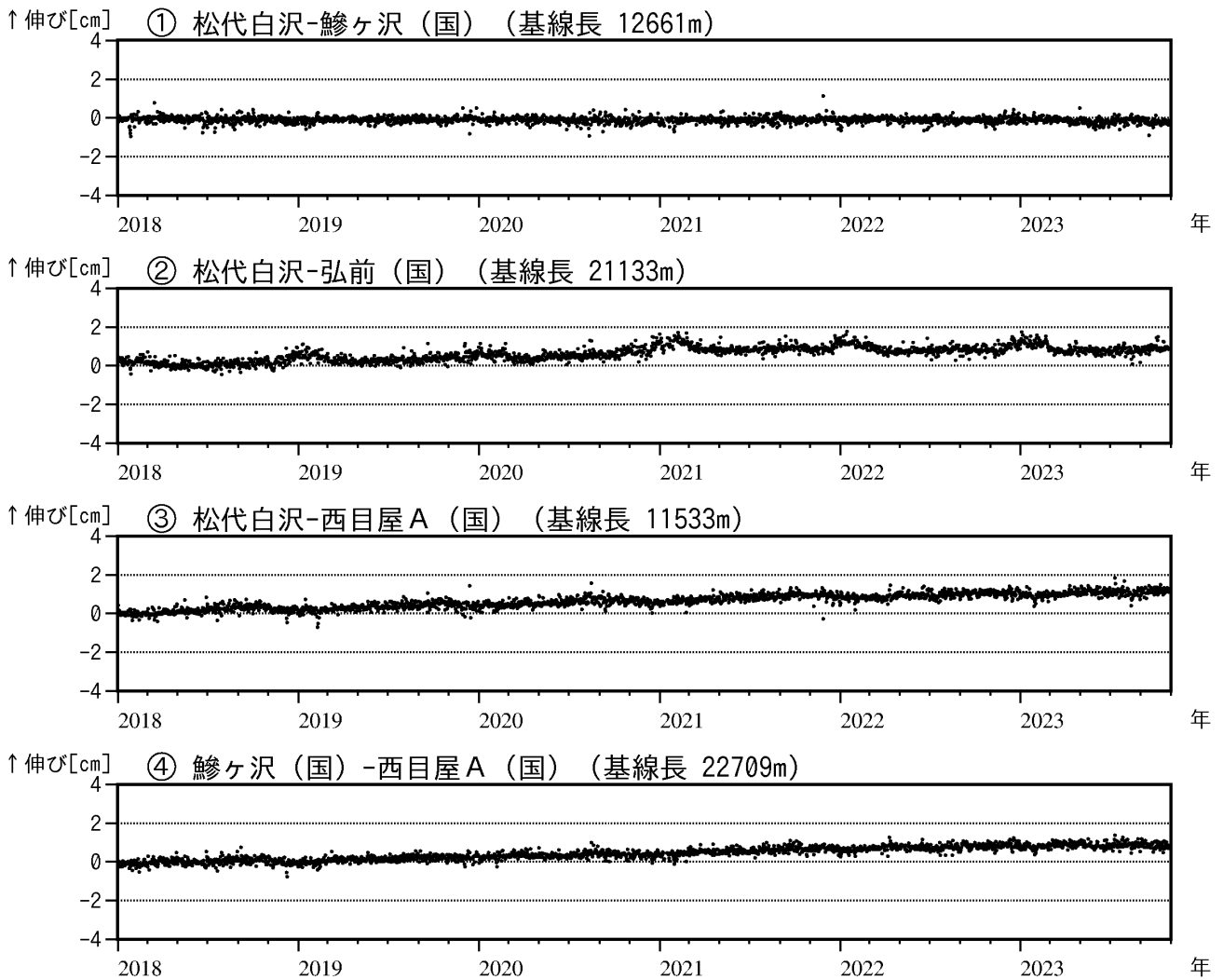


図8 岩木山 GNSS 基線長変化図（2018年1月～2023年10月）

- ・ ①～④は図10のGNSS基線①～④に対応しています。
- ・ (国)は国土地理院の観測点を示します。

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

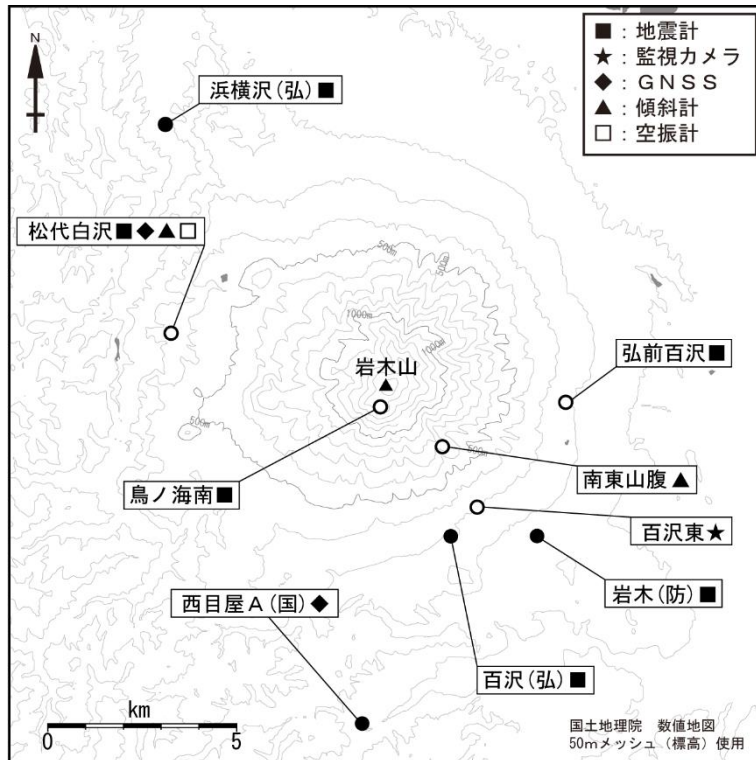


図9 岩木山 観測点配置図

白丸（○）は気象庁、黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（国）：国土地理院 （弘）：弘前大学

（防）：防災科学技術研究所

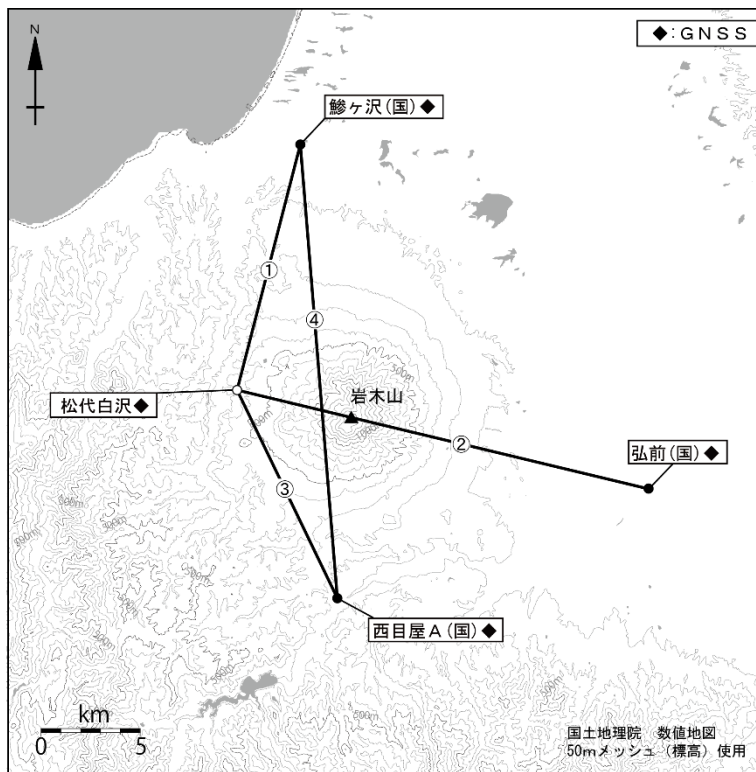


図10 岩木山 GNSS 観測基線図

白丸（○）は気象庁、黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（国）：国土地理院